



道の駅シンポジウム アンケート報告



目次

01.お住まい・年齢

02.来場のきっかけ・感想

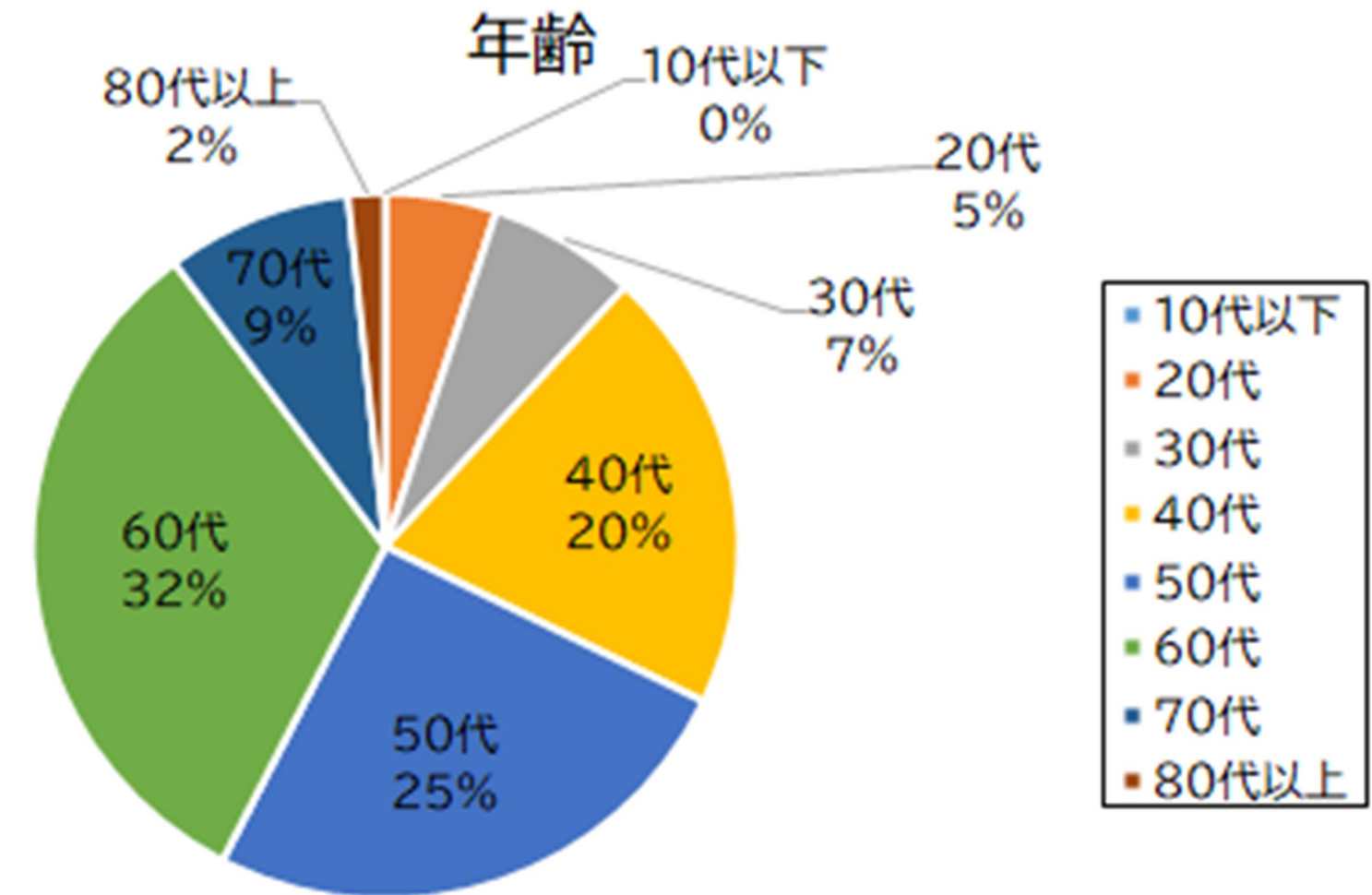
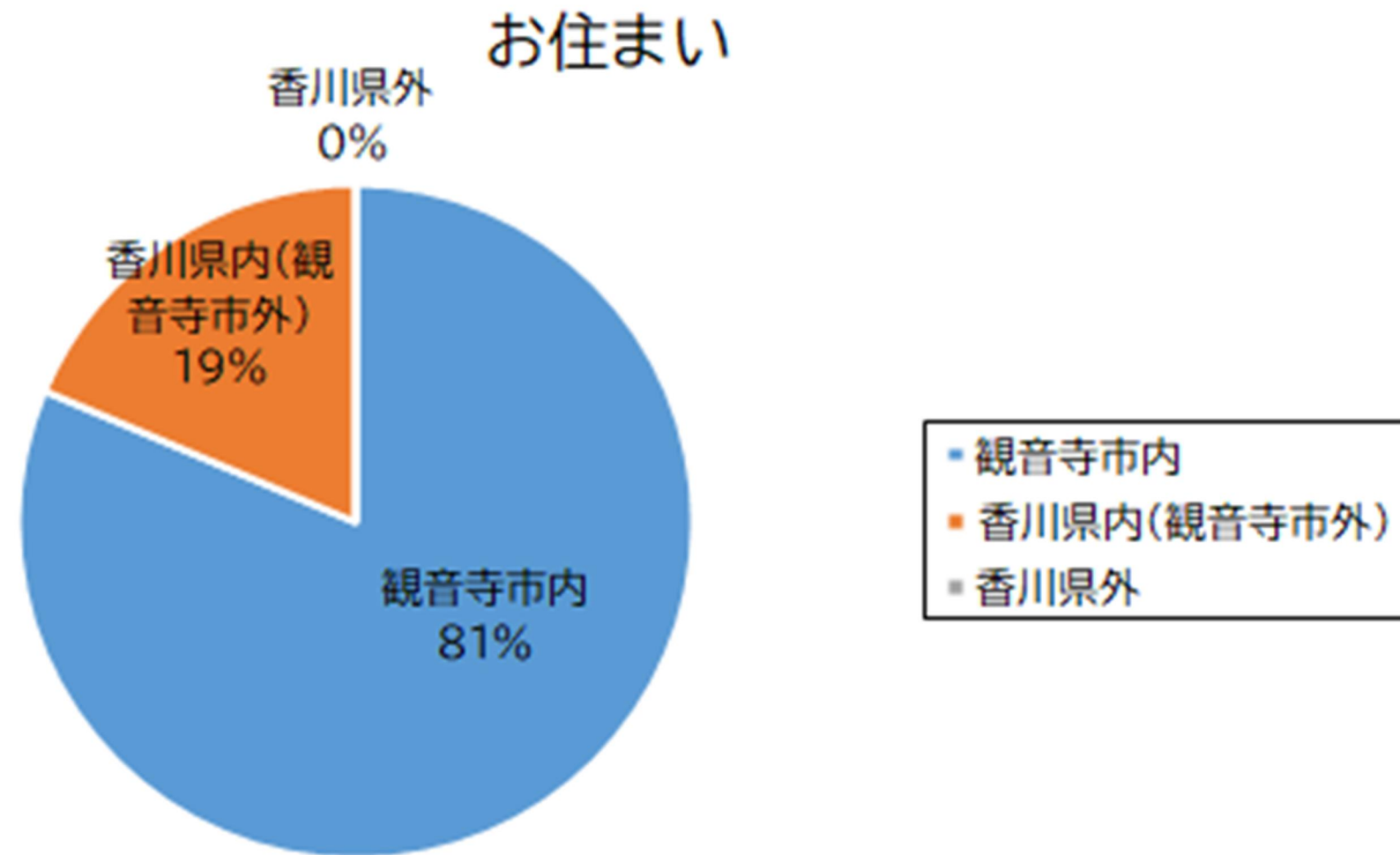
03.新「道の駅」かんおんじ（仮称）に期待すること

04.新「道の駅」かんおんじ（仮称）に対する不安

05.その他、新「道の駅」かんおんじ（仮称）に関する意見

06.まとめ

お住まい・年齢



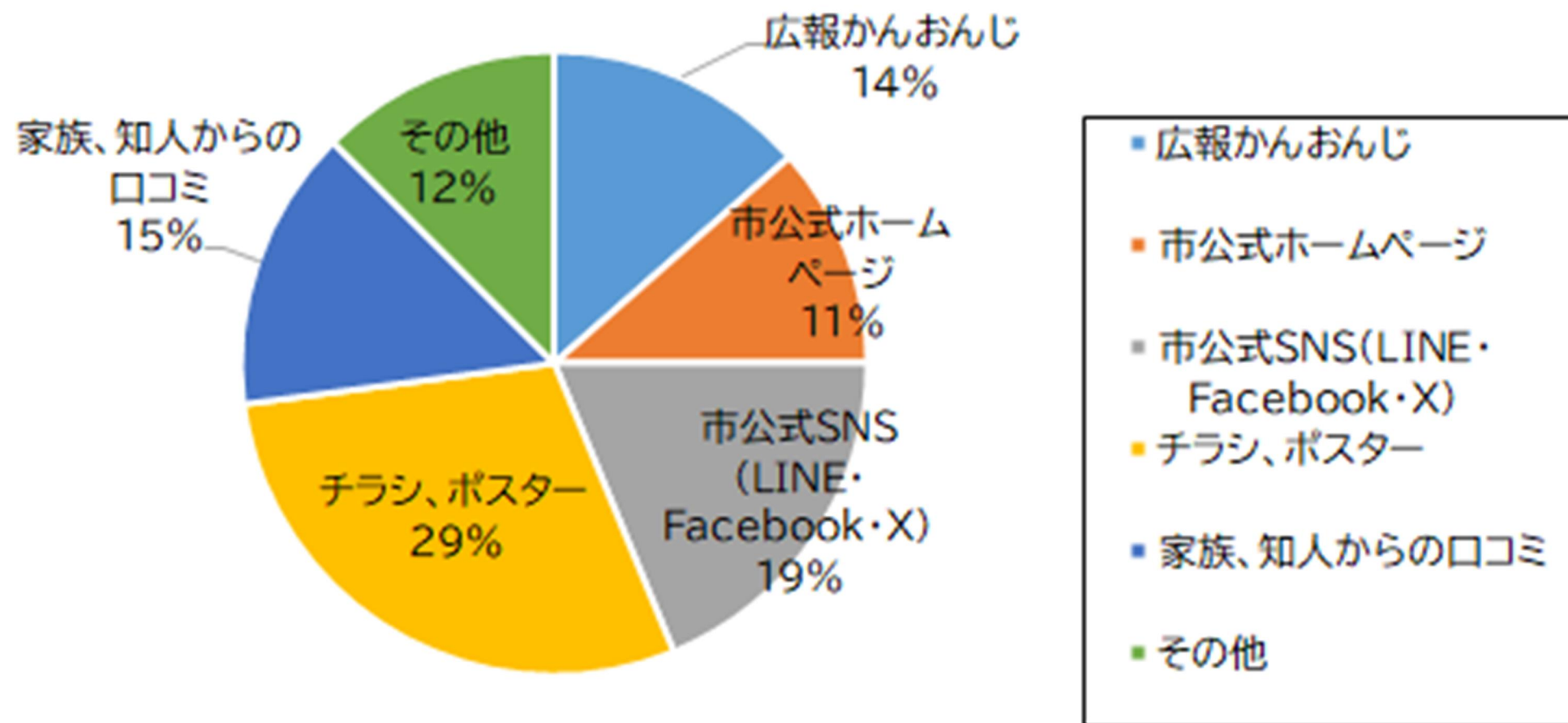
- ・ シンポジウム参加者の約 8 割の方は観音寺市内の方でした。
- ・ シンポジウム参加者の約 6 割の方は20～50代の方でした。



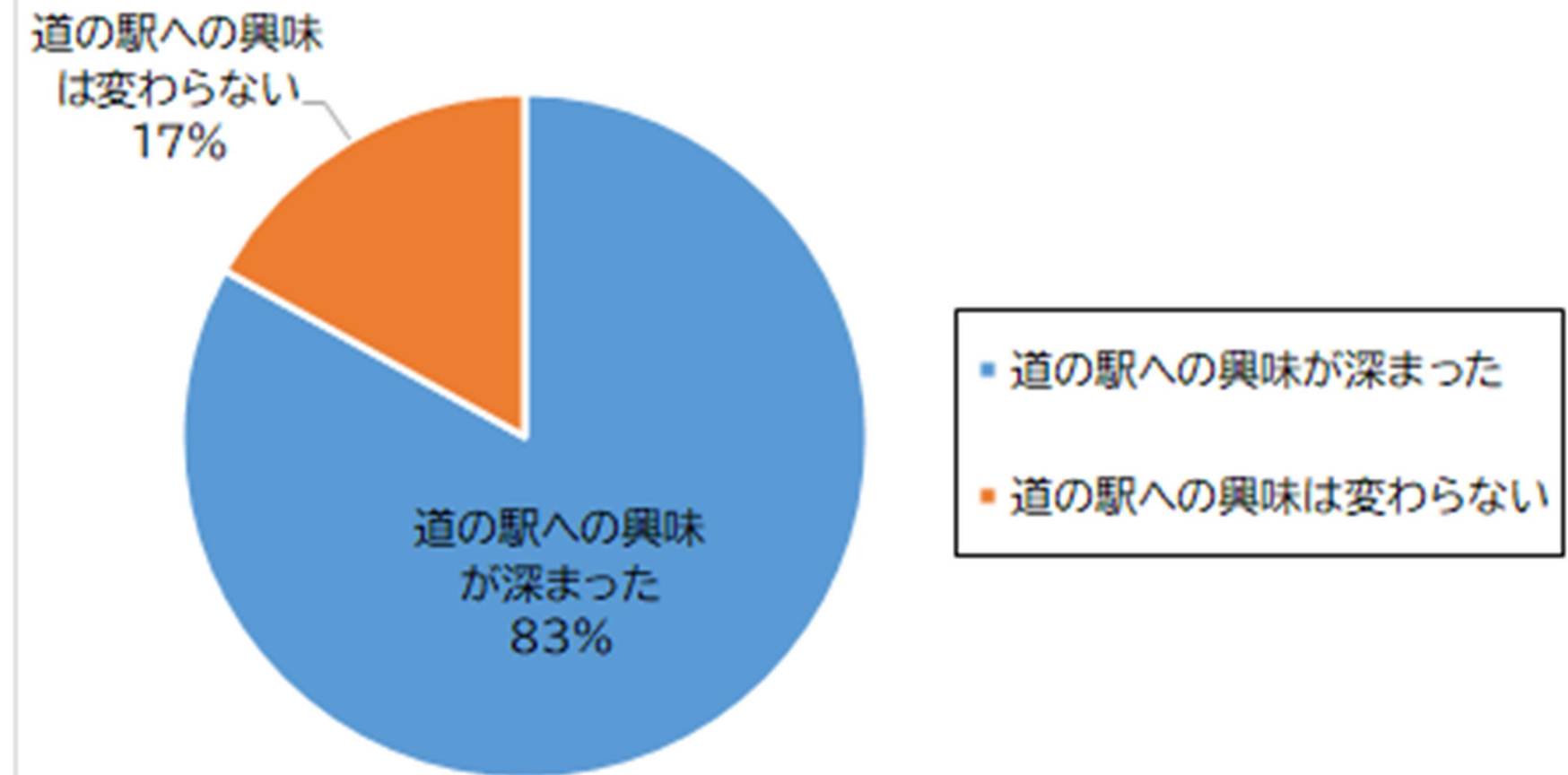
来場のきっかけ・感想



シンポジウムに来られたきっかけ(複数選択可)



シンポジウムに参加しての感想



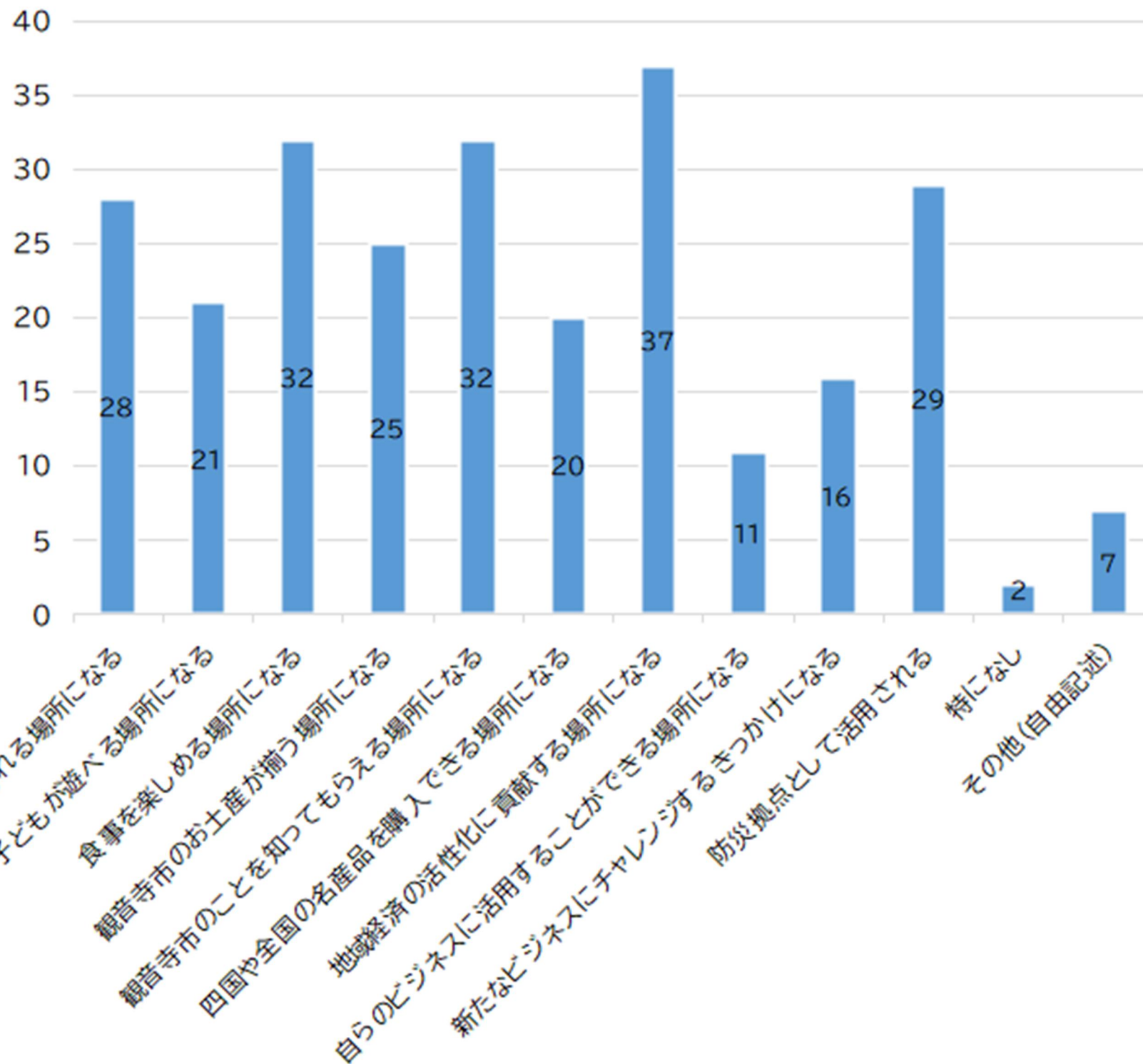
- ・ 来場のきっかけは、紙媒体（広報かんおんじ、チラシ、ポスター）で4割を超えました。
- ・ ただし、紙媒体のみが来場のきっかけとなった方は約3割で、多様な広報の必要性が分かりました。
- ・ 8割以上の方は、シンポジウムに参加したことで道の駅への興味を深めていただけました。



新「道の駅」に期待すること



新「道の駅」かんおんじ(仮称)に期待すること(複数選択可)



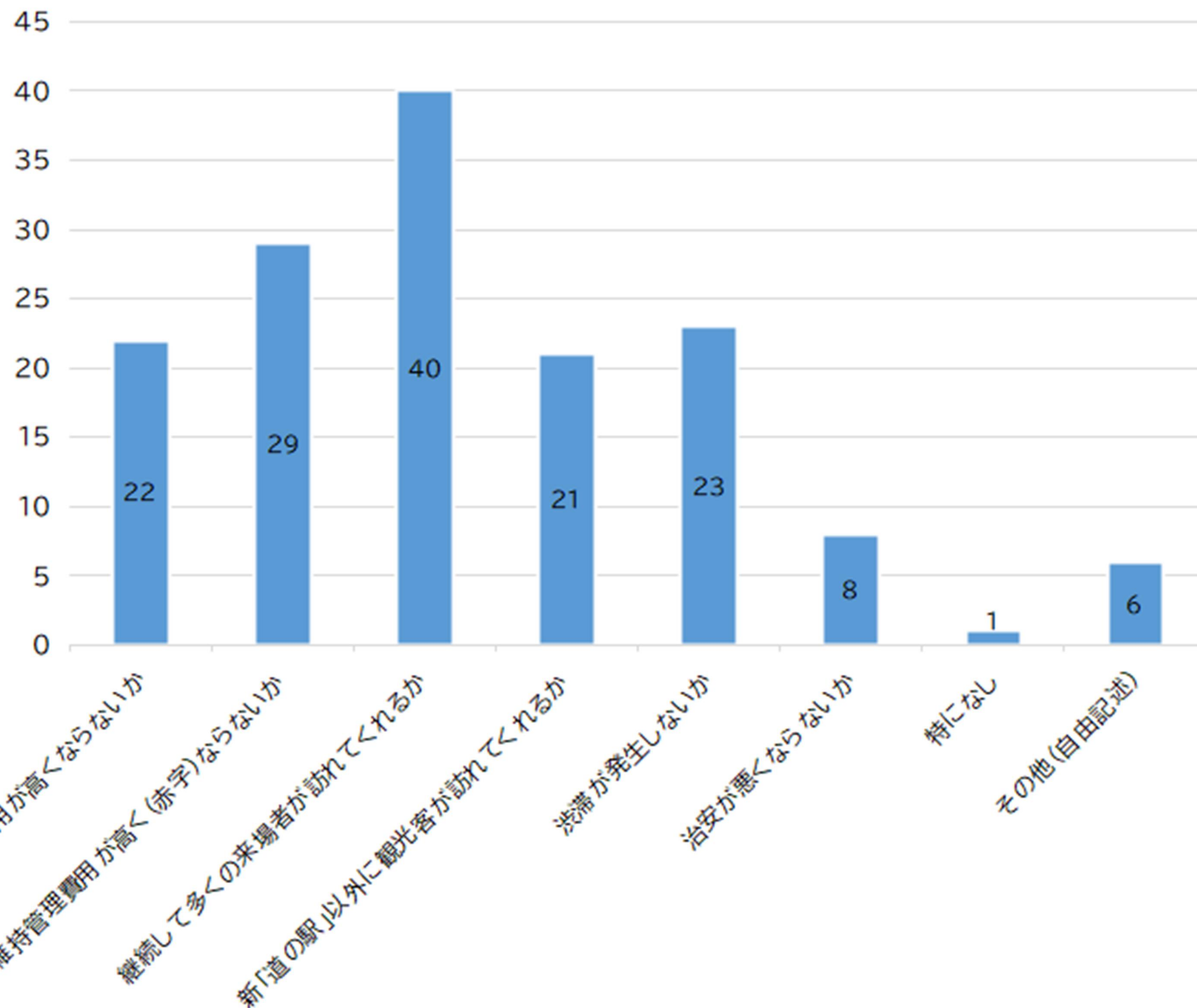
- ・ もっとも期待が大きかったのは、「地域経済の活性化に貢献する場所になる」でした。
- ・ 次いで、「食事を楽しめる場所になる」「観音寺市のことを知ってもらえる場所になる」「防災拠点として活用される」となっており、新「道の駅」の基本理念で設定した「暮らす」「招く」「育てる」すべての面において期待されていることが分かりました。
- ・ 自由記述では、交通手段の確保や新「道の駅」だけに留まらない広域的な連携、さらに老若男女、障がい者、市外の方でも気軽にフラッと訪れることができる場所になってほしい。などの意見をいただきました。



新「道の駅」に対する不安



新「道の駅」かんおんじ(仮称)に対する不安(複数選択可)



- ・「継続して多くの来場者が訪れてくれるか」「維持管理費用が高く（赤字）にならないか」の2つの不安が大きくなっており、開業後の継続性に不安があるということが分かりました。
- ・自由記述では、平日の市民の利用の見込みや地元商店への悪影響のほか、現在の進捗状況や想定どおり上手くいかなかった場合の対策などの提示が必要。などの意見をいただきました。
- ・今後、これらの不安を解消していただけるよう、しっかりと検討を進めながら、情報発信等を実施していく必要があります。



その他、新「道の駅」に関する意見



・いただいた意見は、大きく分けて4つに分類されました。

○新「道の駅」への期待や担うべき役割

地域活性化を担い、目的地となる魅力的な施設に

○新「道の駅」の運営と既存道の駅との差別化

独自の強みの構築や既存道の駅との差別化、活用

○新「道の駅」に対する不安と課題点

持続可能性への懸念や情報発信不足の指摘

○新「道の駅」への関わりや具体的な提案

開業後の自らの関わりや活用方法などの提案

・ここでも、新「道の駅」に対する大きな期待とともに、反対に不安や懸念点もあるということが分かりました。

○新「道の駅」イメージイラスト



まとめ

シンポジウムへの来場をきっかけに、大半の方が道の駅に対する興味が深まったものの、それでも新「道の駅」に対しては、大きな期待がある一方で、不安や懸念点もあるということがアンケート結果から判明しました。

新「道の駅」の整備については、観音寺市にとって未来を見据えた非常に大きなプロジェクトであり、そのことから、多くの方が単純に期待だけではなく、不安や懸念を抱くことは当然のことだと思います。

新「道の駅」を整備することで経済波及効果をもたらし、安全・安心に暮らせるまちを構築するとともに、アンケート結果を踏まえ、皆さまの期待に応え、不安の解消に繋がるよう、しっかりと事業を進めながら必要な情報をお届けしていきます。

